自衛隊栃木地方協力本部

オーダーメイド型職業説明会参加を支援
～より深く理解する意欲～

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長　大橋2陸尉）は11月2日（木）、朝霞駐屯地で実施されたオーダーメイド型職業説明会への志願者の参加支援を実施した。

このオーダーメイド型職業説明会は、東部方面総監部人事部募集課募集班長（堀2佐）の全般概要説明と陸上自衛隊広報センターりっくんランド見学から始まり、第1偵察戦闘大隊の職種説明、体験喫食、戦闘射撃訓練シュミレータ（GCSS）研修、各分野「心理」「サイバー」「電磁波」「法務」に分かれて各担当の幹部自衛官による個別説明と懇談、最後に東部方面総監部人事部長（田中1佐）とも懇談するという特別な経験ができる説明会である。参加者は終始、興味津々な様子で真剣に聞き入っており、将来の職務について見識を深めていた。懇談会では物おじせず積極的に質問しており、幹部の魅力を再確認していた様子が印象的であった。説明会を終えた参加者は、「この貴重な経験を活かして、自分も早くこのような訓練をやってみたい」と語っており、この説明会の成果を実感した。

宇都宮募集案内所は、「これからも志願者の前向きな意欲を大切にし、将来の熱き自衛官に様々な支援をしていきたい」としている。

秋の益子陶器市で賑わう益子町・『道の駅ましこ』で広報展を開催

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長　麦倉准陸尉）は11月3日（金）、『道の駅ましこ』において栃木県防衛協会芳賀支部（支部長　堀中勝水氏）及び中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、自衛隊広報展を開催した。

栃木県益子町にある『道の駅ましこ』は、全国的に有名な益子焼をはじめ、地元の農産物や手仕事作家の多く住む益子町ならではの品ぞろえが人気の『道の駅』である。また、同日は、益子町内にて春・秋の年2回開催され、年間約60万人の人出がある『益子陶器市（11月3日～6日）』の開催初日だったこともあり、県内外の多くの観光客が、最寄りの『道の駅ましこ』にも立ち寄るため、自衛隊の広報展会場も大変賑わった。

広報展では、軽装甲機動車、偵察用オートバイの装備品展示及び制服試着体験のほか防衛協会と宇都宮駐屯地アーミーショップによる自衛隊グッズ販売が出展され、来場者は、軽装甲機動車のボンネットに乗り、笑顔で写真を撮影したり、自衛隊の迷彩服に身をつつみさっそうと偵察用バイクにまたがって試乗するなど、清々しい秋晴れのもと三連休初日のイベントを楽しんでいた。来場者は「道の駅で自衛隊の広報展が開催されていてびっくりしました！なかなか手に入らない珍しいグッズやお菓子を購入できてうれしいです」と話すなど、多くの人にアピールすることができた。

真岡募集案内所は「道の駅や地域のお祭りなどで開催する広報展は、自衛隊をよく知らない来場者との出逢いがたくさんある。初めて訪れた人が自衛官との会話や試乗体験等を通じて興味関心を深めてもらえるよう、今後も体験型広報展の実施に取り組んでいく」としている。